

株式会社 バイク王 & カンパニー

第27回定時株主総会

2025年2月26日

バイクのことなら

BIKE 王

1. 議長宣言・開会宣言

2. 定足数報告

3. 監査結果報告

招集ご通知 P59～63

監査結果報告

連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2025年1月17日

株式会社バイク王&カンパニー
取締役会 御中

赤坂有限責任監査法人
東京都港区

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	池田 勉
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	八十田 原 晃

監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社バイク王&カンパニーの2023年12月1日から2024年11月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社バイク王&カンパニー及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

連結計算書類に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

は、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査等委員会監査報告

監査報告書

当監査等委員会は、2023年12月1日から2024年11月30日までの第27期事業年度における取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施いたしました。

① 監査等委員会が定めた監査の方針、監査等委員会監査等基準に準拠し、監査方針、監査計画、職務の分担等に従い、会社の内部監査部門その他の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役、執行役員及び内部統制部門等の使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。

② 会計監査人が独立した立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について監査計画、四半期レビュー結果、期末監査結果等の報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。なお、監査上の主要な検討事項（KAM）については、赤坂有限責任監査法人と協議を行うとともに、その監査の実施状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人赤坂有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人赤坂有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2025年1月20日

株式会社バイク王&カンパニー
監査等委員会

常勤監査等委員 上 沢 徹 二 ㊟

監査等委員 三 上 純 昭 ㊟

監査等委員 森 順 子 ㊟

(注) 監査等委員三上純昭及び森順子は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以上

4. 事業報告

招集ご通知 P11～31

国内経済

7 から 9 月期の実質GDP成長率が年率換算
1.2%と個人消費が成長の牽引役と
なって2四半期連続のプラス成長

物価に関しては、10月のコアコアCPIが2.3%、
コアCPIは2.3%と14か月連続で
2%台となり落ち着きが継続している



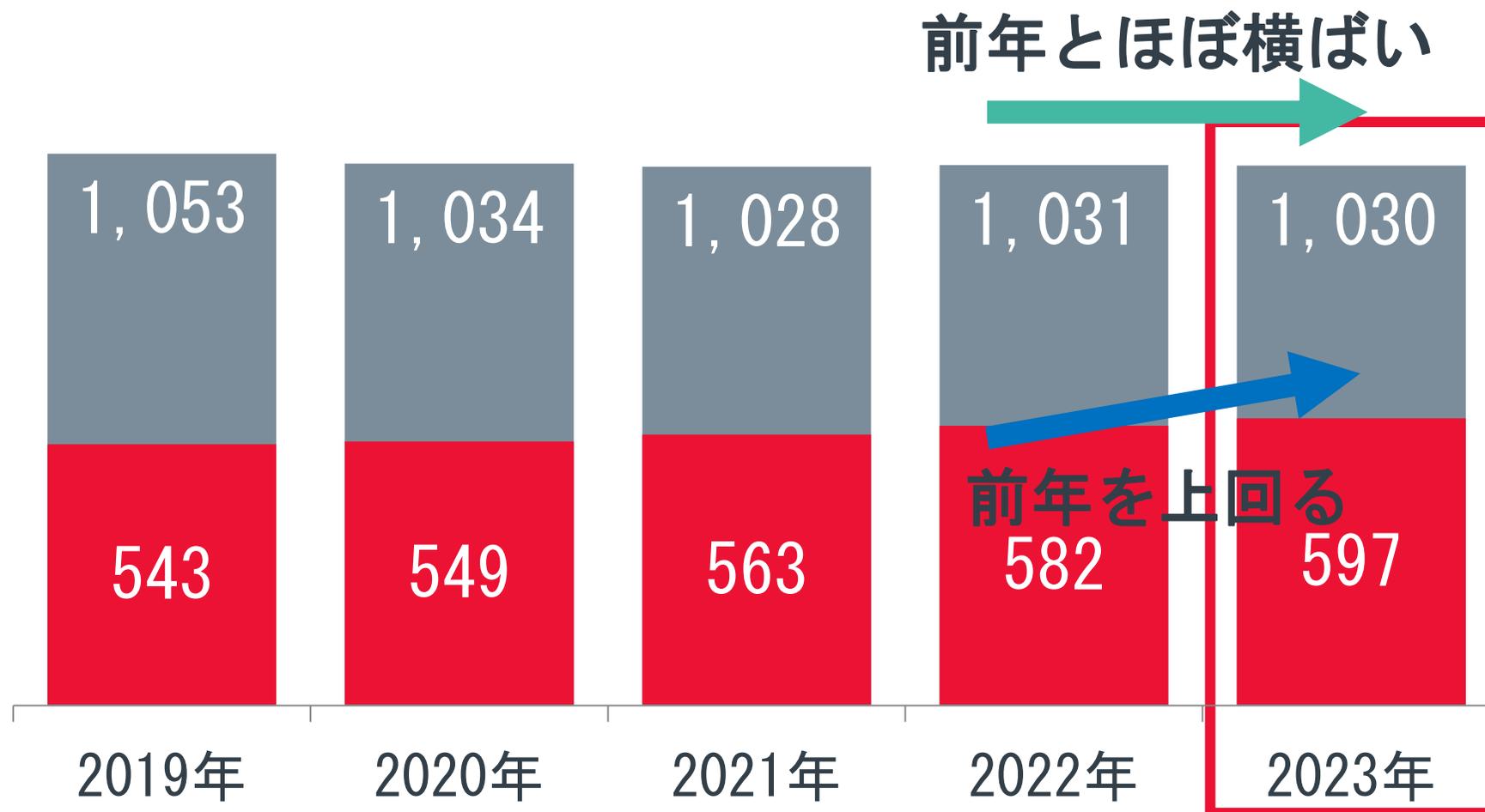
アフターコロナにおける
社会・経済活動の正常化

ユーザーのバイクへの関心は
コロナ前の水準に落ち着く

■国内のバイク保有台数

出典：一般社団法人日本自動車工業会／各年3月末日ベース

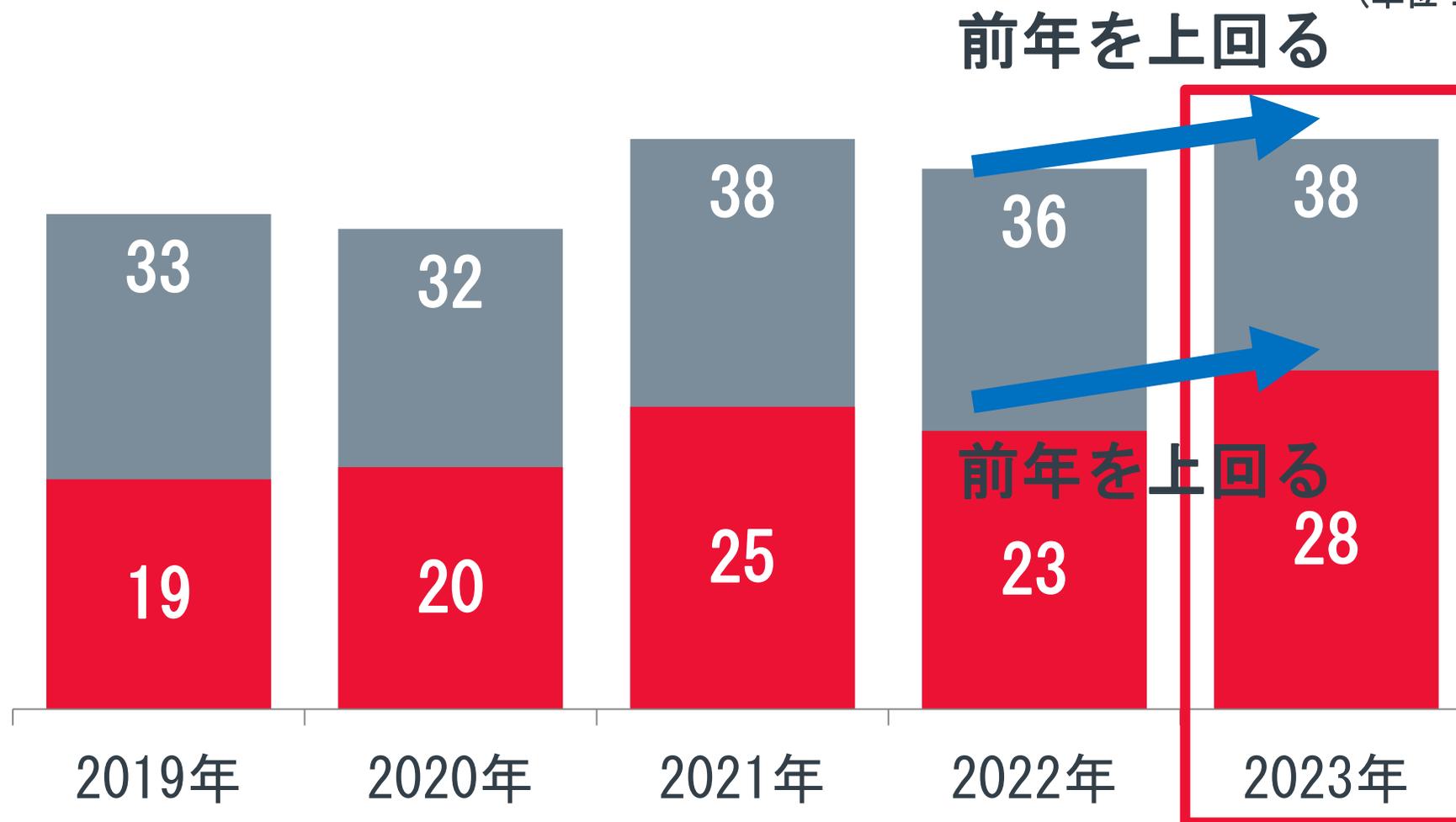
■合計
■原付二種以上
(単位：万台)



■ 国内の新車販売台数

出典：一般社団法人日本自動車工業会／暦年ベース

■ 合計
■ 原付二種以上
(単位：万台)



コーポレートミッション

「まだ世界にない、感動をつくる。」

ビジョン

「バイクライフの生涯パートナー」の実現

UXグロースモデルの確立

- ①店舗開発によるお客様接点の増加
- ②CRMシステムの構築によるデータに立脚したマーケティング活動
- ③サービス拡充・整備事業のネットワーク化

主力事業であるバイク事業をあらためて成長軌道に乗せるための活動および利益体質への改善に専念

課題としている広告効率の改善や、
査定成約率の向上による仕入台数の増加

買取主体の事業モデルから
小売主体の事業モデルへの転換

広告に依存しない店頭仕入や
オークション仕入を強化

全社的な収益構造の改善を実現させるため、
間接部門を対象とする組織再編

広告宣伝費の削減ならびに
支出基準の厳格化による経費の圧縮

リテールは好転し、さらに全社一丸となって
経営体質・事業構造の抜本的改革に
取り組んだことで収益構造は大幅に改善

子会社の吸収合併

(株) ライフ & カンパニー (株) バイク王ダイレクト

2023年10月に決議、12月に吸収合併が完了



(株) バイク王 & カンパニー

第2四半期連結会計期間より、
当社の子会社である
(株)東洋モーターインターナショナル
を連結の範囲に含め、
従来の単体決算から
連結決算に移行

業績ハイライト

(単位：百万円)

	第26期 (単体)	第27期 (連結)	増減額	増減率
売上高	33,068	33,965	897	2.7%
営業利益(△損失)	△166	286	452	—
経常利益	150	584	433	288.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△110	187	298	—

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※第27期第2四半期より連結決算に移行しているため、前期は単体決算の数値となります。

5. 連結計算書類報告

招集ご通知 P32～33

(単位：百万円)

	第26期 (単体)	第27期 (連結)	増減額
流動資産合計	8,234	8,742	508
固定資産合計	3,820	3,715	△105
有形固定資産	1,379	1,578	198
無形固定資産	588	516	△71
投資その他の資産	1,852	1,620	△232
資産合計	12,054	12,457	403

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※第27期第2四半期より連結決算に移行しているため、前期は単体決算の数値となります。

(単位：百万円)

	第26期 (単体)	第27期 (連結)	増減額
流動負債合計	4,610	4,708	97
固定負債合計	1,049	1,258	208
負債合計	5,660	5,966	305
純資産合計	6,394	6,491	97
負債・純資産合計	12,054	12,457	403

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※第27期第2四半期より連結決算に移行しているため、前期は単体決算の数値となります。

(単位：百万円)

	第26期 (単体)	第27期 (連結)	増減額	増減率
売上高	33,068	33,965	897	2.7%
売上総利益	12,199	12,624	425	3.5%
販売費及び一般管理費	12,365	12,337	△28	△0.2%
営業利益(△損失)	△166	286	452	—
経常利益	150	584	433	288.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△110	187	298	—

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※第27期第2四半期より連結決算に移行しているため、前期は単体決算の数値となります。

バイクのことなら

BIKE 王

これまでの振り返り
今後の取り組み

コーポレートミッション

「まだ世界にない、感動をつくる。」

ビジョン

「バイクライフの生涯パートナー」の実現

主力事業であるバイク事業をあらためて
成長軌道に乗せるための活動および
利益体質への改善に専念

仕入面においては、収益力の改善を
目的として、広告宣伝費を大幅に抑制



広告効率は順調に改善し、
一定の成果を上げることができました

広告抑制に伴う
仕入台数の減少

リテール販売用
在庫を確保

店頭仕入
(持込・下取)

オークション

強化

仕入

チャネルを通じた仕入台数を増加させることに成功
仕入基盤の安定化と販売体制の強化

ホールセール



仕入台数の減少や
リテール販売用在庫の
確保を優先



ホールセールの
販売台数は大幅に減少

この減少は想定内であり、計画通りの進捗と認識
販売価格の維持に努めたこと、
オークション相場が引き続き好調に推移、
全体として堅調な結果を維持

リテール



既存店・新店の販売が
順調に推移
新たな販売方法として
アウトレット車輛の
販売強化に注力

販売機会を創出し、多様なお客様のニーズに応える
車輛販売に加えて付帯収益も大きく伸長し、
全体として非常に好調

全体業績における全社的な収益構造の改善

収益力向上を目指し、
間接部門を対象とした組織再編を実施、
広告宣伝費の削減や支出基準の厳格化、
経費の圧縮を徹底



収益構造は大幅に改善し、
第27期は黒字化を達成

第28期以降の取り組み 通期業績予想

目指すべき方向性

従来のビジネスモデルから、
UXグロースモデルへの転換

中古バイク販売シェアNo. 1

商品提供から一歩進んだ、
お客様にとって価値ある体験を提供する

成長戦略



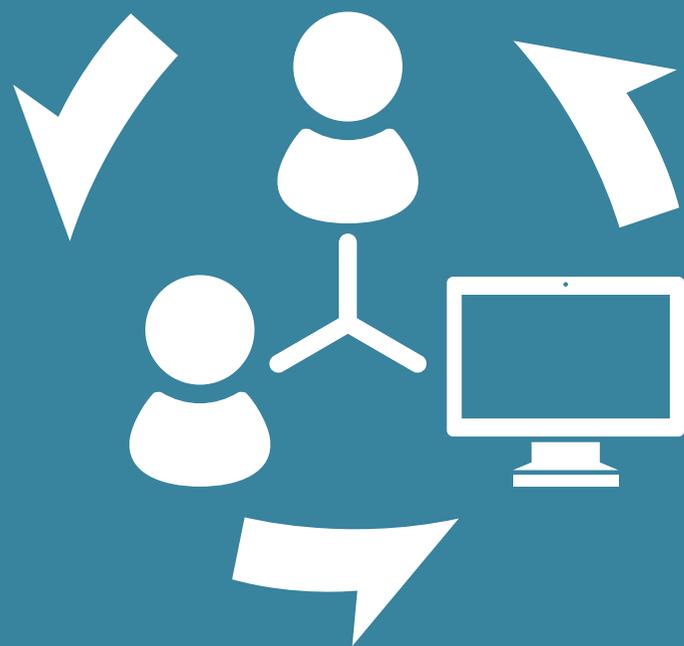
お客様との関係を深め、単なる一回限りの取引にとどまらず、継続的なつながりを築く

お客様の満足度を高め、より大きなビジネスチャンスを生み出す

新たな収益源を創出することにも力を入れていく

市場の多様化や新しいサービスの開発に注力し、企業としての収益基盤を強化

構造改革



業務の効率化を進め、非労働集約型のオペレーションを導入することで、生産性の向上とコスト削減を実現

固定費や変動費の管理を徹底し、利益率を最大化

人財基盤の強化



優れた人財を採用し、社内での育成に力を入れることで社員一人ひとりの成長を支援

社員が働きやすい環境を整備し、モチベーションが高く、健康的に働ける職場を作る

財務基盤の強化



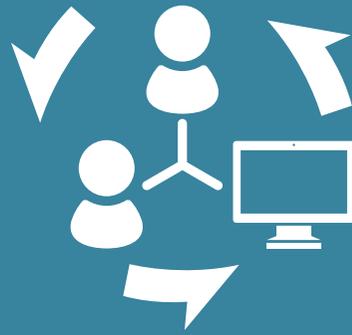
キャッシュ・フローを安定させ、企業の成長を支えるための十分な資金を確保

資本コストを意識し、財務面からも企業の安定性を高める

成長戦略



構造改革



人財基盤の
強化

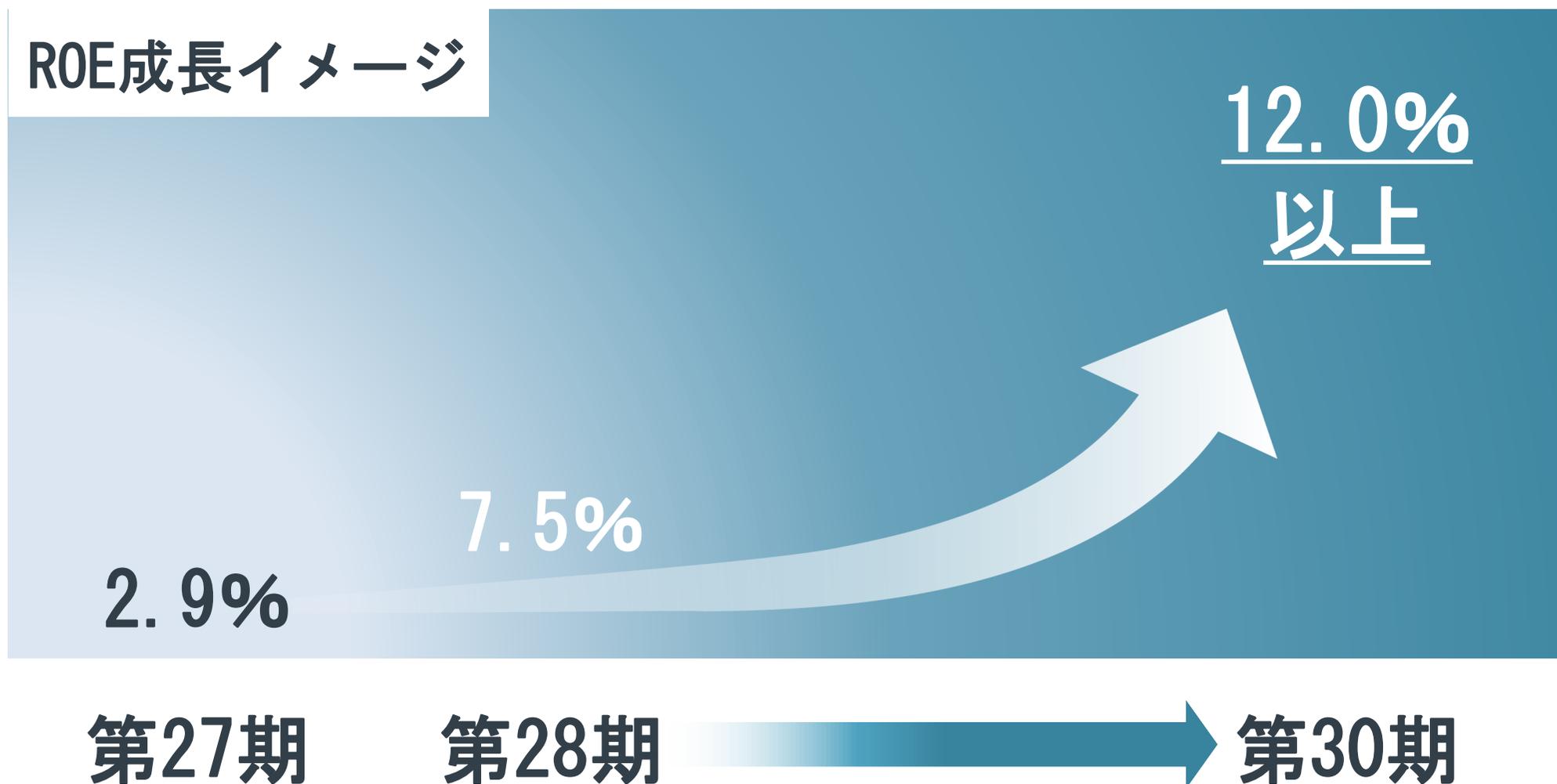


財務基盤の
強化



より強固な企業基盤を築いていくとともに、
今後も変化を恐れず、常にお客様中心の
事業運営を行い、競争力を維持・強化を図る

資本コストや株価を意識した経営を実践することで、持続的な企業価値の向上を目指す



(単位：百万円)

	第27期	第28期	増減額	増減率
売上高	33,965	35,000	1,034	3.0%
営業利益	286	570	283	99.0%
経常利益	584	790	205	35.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	187	510	322	172.2%

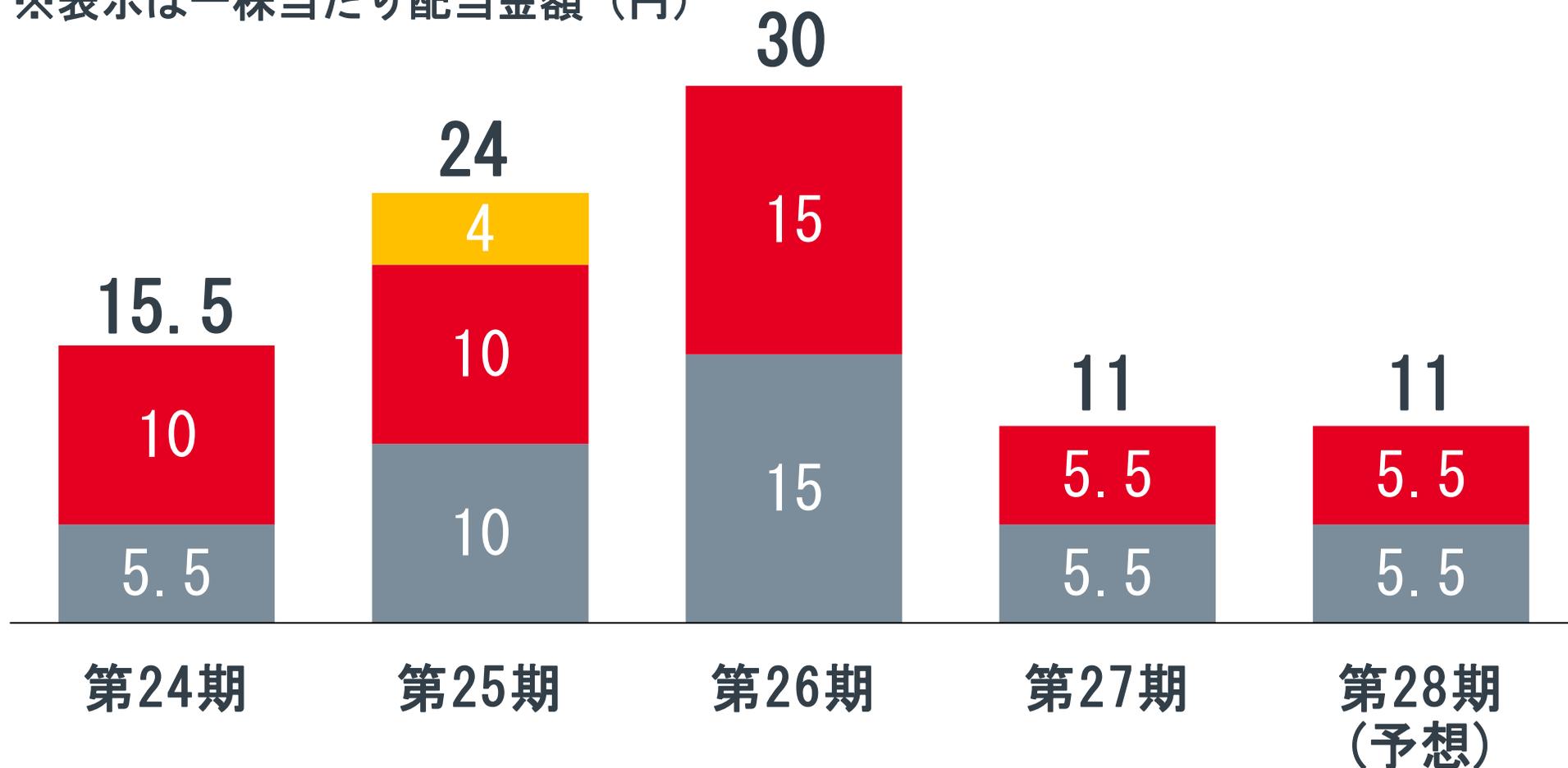
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

基本方針

安定的な配当を行うことを念頭に置きつつ、業績等を勘案したうえで配当金額を決定

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 特別配当

※表示は一株当たり配当金額（円）



バイクのことなら

BIKE 王

6. 決議事項

招集ご通知 P 3 ~ 10

第1号議案

第27期剰余金処分の件

第2号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

第3号議案

監査等委員である取締役3名選任の件

第4号議案

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

第27期剰余金処分の件

- (1) 配当財産の種類 : 金銭
- (2) 株主に対する期末財産の割当に関する事項およびその総額 : 5.5円 総額 79,857,641円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日 : 2025年2月27日

	中間	期末	合計
第27期	5.5円	5.5円	11円

取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

さわ あつ し
澤 篤 史

か とう よし ひろ
加 藤 義 博

こ みや けん いち
小 宮 謙 一

おお たに ま き
大 谷 真 樹

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

監査等委員である取締役3名選任の件

かみ さわ てつ じ
上 沢 徹 二

み かみ よし あき
三 上 純 昭

もり じゅん こ
森 順 子

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

く ぼ た せい ら
久 保 田 征 良

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

7. 質 疑 応 答 ・ 審 議

8. 議案の採決

第1号議案

第27期剰余金処分の件

第2号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

第3号議案

監査等委員である取締役3名選任の件

第4号議案

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

第27期剰余金処分の件

- (1) 配当財産の種類 : 金銭
- (2) 株主に対する期末財産の割当に関する事項およびその総額 : 5.5円 総額 79,857,641円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日 : 2025年2月27日

	中間	期末	合計
第27期	5.5円	5.5円	11円

取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

さわ あつ し
澤 篤 史

か とう よし ひろ
加 藤 義 博

こ みや けん いち
小 宮 謙 一

おお たに ま き
大 谷 真 樹

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

監査等委員である取締役3名選任の件

かみ さわ てつ じ
上 沢 徹 二

み かみ よし あき
三 上 純 昭

もり じゅん こ
森 順 子

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

く ぼ た せい ら
久 保 田 征 良

※略歴等については、お手許の招集ご通知をご確認ください。

9. 閉会宣言

バイクのことなら

BIKE 王

バイクのことなら

BIKE 王

本日はありがとうございました